

令和5年度畜産振興補助事業の評価結果の公表について

令和7年1月24日
地方競馬全国協会
畜産振興部

地方競馬全国協会(以下「NAR」という。)では、畜産振興補助事業(以下「補助事業」という。)を効果的かつ効率的に実施するため、前年度に終了した補助事業を評価(以下「事業評価」という。)する仕組みを導入し、客観的かつ的確な事業評価を行うにあたり、外部有識者から構成される「畜産振興補助事業評価委員会」(委員名簿は下表参照。)を設置し、意見を聴取しています。

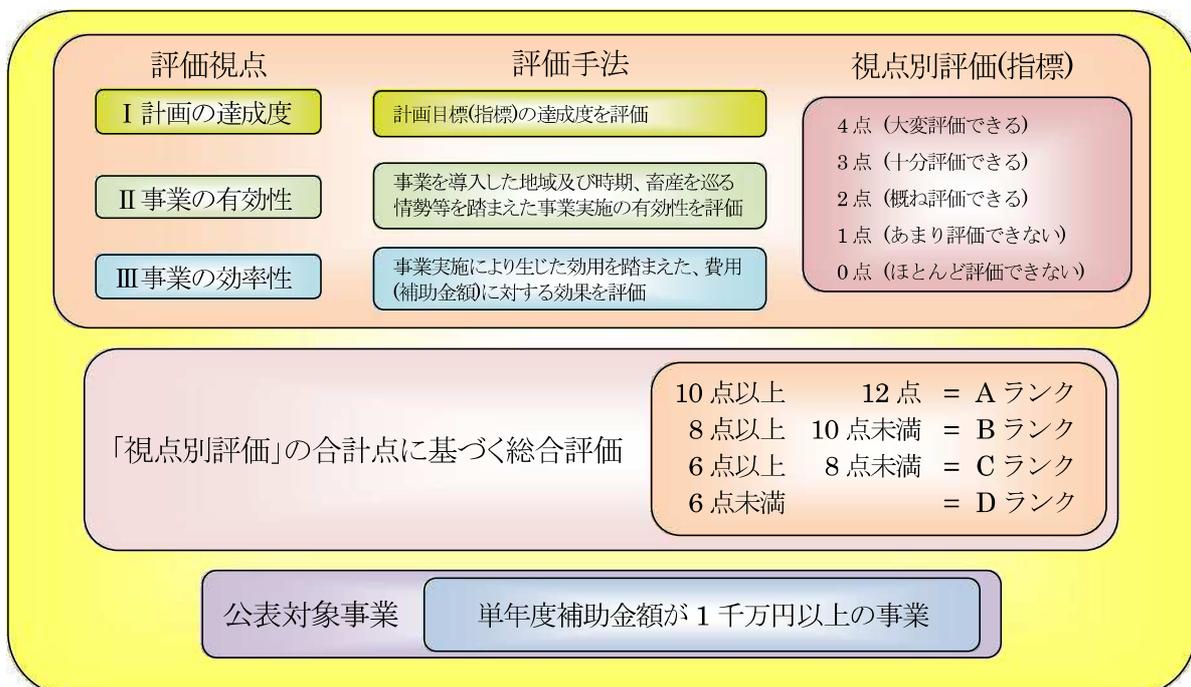
また、NAR は、事業評価の結果を外部に公表することにより、補助事業の有効性及び透明性を確保することとしています。

令和6年度は、令和5年度に実施された補助事業(98 団体、事業件数 149 件、補助金額 3,537,198,000 円)を対象として事業評価を行い、今般その結果がまとまりましたので公表します。

表. 畜産振興補助事業評価委員会委員名簿 (敬称略・50音順)

委員氏名	所 属	役 職 名	備考
秋 山 徹	公益財団法人 畜産近代化リース協会	常務理事	
伊 佐 雅 裕	公益財団法人 全国競馬・畜産振興会	業務部長	座長
小 林 奈穂美	独立行政法人 農畜産業振興機構	畜産振興部管理課長	
菅 野 茂	国立大学法人 東京大学	名誉教授	
豊 田 淳	国立大学法人 茨城大学	教授	

図. 「評価の基準」



【令和5年度畜産振興事業評価結果】

地方競馬全国協会 畜産振興部

事業名		I 馬の改良増殖推進事業 (1) 登録推進		事業実施主体名	公益社団法人 日本馬事協会
補助金等の名称		登録推進費			
事業の概要	根拠	【要綱、事業実施要領、その他】 [NAR] (令和5年度) 畜産振興事業補助実施要綱 [事業実施主体] 日本馬事協会登録規程 等	事業の目的	趣旨	血統及び繁殖登録推進と事務の円滑化
	事業の内容	<p>重種馬の血統と個体識別を明確にし、繁殖成績を記録することによって馬の改良増殖を図るとともに、ばんえい競馬の公正確保等に寄与するため、次に掲げる事業を実施した。</p> <p>i 血統・繁殖登録審査 北海道、青森、岩手、栃木、島根、熊本及び宮崎の各道県における重種馬等の登録を行った。また、登録審査で疑義のあった馬に対し、毛色の遺伝子検査及びDNA型検査を実施した。</p> <p>ii 登録実務者研究会 登録審査委員の技術向上等を図るため、1月に登録審査員を対象とした登録実務者研究会を、4月に登録審査補助員を対象とした登録審査講習会を(独)家畜改良センター十勝牧場にて開催した。</p> <p>iii 登録審査委員の委嘱 協会職員、学識経験者及び関係団体の役職員のうち、適任者7名を新たに任命又は委嘱した。</p> <p>iv システム保守改修 血統管理システムの保守を行いながら、登録情報を登録名簿に登載し、馬関連団体情報システムにより、HPに開示した。また、登録情報等をスマートフォン等で閲覧できるようにシステムの改修を行った。</p> <p>v 登録業務普及啓発 登録申請等の簡便化や馬事知識の普及啓発を図るため、HPの情報の充実、馬事関係の情報を逐次更新し発信した。</p>			
補助金額(円)		前年度(R4実績)	評価年度(R5実績)	今年度(R6計画)	備考
		61,832,000	68,779,000	86,481,526	
視点別評価	<p>I 計画の達成度</p> 				【評価項目】 I 計画の達成度 II 事業の有効性 III 事業の効率性(費用対効果)
総合評価	評価結果		ランク	ランクの定義	
	合計点	9	A	視点別評価の合計点が10点以上(12点満点)	
	判定(ランク)	B	B	視点別評価の合計点が8点以上10点未満	
			C	視点別評価の合計点が6点以上8点未満	
			D	視点別評価の合計点が6点未満	

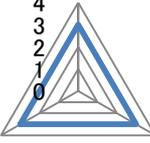
【令和5年度畜産振興事業評価結果】

地方競馬全国協会 畜産振興部

事業名		I 馬の改良増殖推進事業 (2)重種種馬の導入		事業実施主体名	公益社団法人 日本馬事協会
補助金等の名称		種馬導入費			
事業の概要	根拠	【要綱、事業実施要領、その他】 [NAR] (令和5年度)畜産振興事業補助実施要綱 [事業実施主体] 種雄馬管理規程 等	事業の目的	趣旨	優良な重種種馬の購入、適正配置
	事業の内容	<p>ばんえい競馬の重賞勝ち馬等牽引能力の高い馬及び基幹的品種の重種種馬の導入による資質向上と、種馬の飼養管理技術の向上を図るため、次に掲げる事業を実施した。</p> <p>i 国内産種雄馬購入 公益社団法人日本馬事協会が定める重種種雄馬選定基準により選定された種馬の購入 令和5年度は国内産馬(ばんえい馬)1頭を購入し、北海道の主要馬産地に配置した。</p> <p>ii 国内産種雌馬購入 重種種馬の改良増殖を推進するための、基幹的品種の国内産種雌馬の購入及び配置 令和5年度は国内産馬(ばんえい馬)8頭を購入し、北海道の主要馬産地に貸付けた。</p> <p>iii 優良種馬適正配置 (独)家畜改良センター十勝牧場から借り受けた種雄馬(純粋種)5頭を主要産地へ配置した。</p> <p>iv 凍結精液の配布等 製造した凍結精液の配布を行った。</p> <p>v 種馬管理指導 公益社団法人 日本馬事協会及び支部が主体となって行う、北海道、青森県、岩手県、島根県、熊本県、宮崎県に配置中の種雄馬、種雌馬についての管理状況の把握と、飼養管理者に対する管理技術の向上について指導した。</p> <p>vi 種雄馬名簿の発行 令和5年度に種畜検査を受検し、種畜証明書の交付を受けた種雄馬を収録した名簿を刊行し関係者へ配布した。</p>			
補助金額(円)		前年度(R4実績)	評価年度(R5実績)	今年度(R6計画)	備考
		97,544,000	42,282,000	139,254,960	
視点別評価	<p>I 計画の達成度</p> <p>III 事業の効率性(費用対効果)</p> <p>II 事業の有効性</p>			<p>【評価項目】</p> <p>I 計画の達成度</p> <p>II 事業の有効性</p> <p>III 事業の効率性(費用対効果)</p>	
総合評価	評価結果		ランク	ランクの定義	
	合計点	8	A	視点別評価の合計点が10点以上(12点満点)	
	判定(ランク)	B	B	視点別評価の合計点が8点以上10点未満	
			C	視点別評価の合計点が6点以上8点未満	
			D	視点別評価の合計点が6点未満	

【令和5年度畜産振興事業評価結果】

地方競馬全国協会 畜産振興部

事業名	I 馬の改良増殖推進事業 (3) 重種雌馬の改良増殖推進		事業実施主体名	南幌農業協同組合他24団体	
補助金等の名称	純粋種雌馬繁殖奨励費、重種雌馬繁殖奨励費、ばんえい競馬出走馬繁殖奨励費 純粋種雌馬導入費、重種雌馬導入費、ばんえい競馬出走馬導入費 重種馬生産者支援体制強化費				
事業の概要	根拠	【要綱、事業実施要領、その他】 [NAR] (令和5年度)畜産振興事業補助実施要綱 [事業実施主体] 重種雌馬の繁殖奨励金交付規程 重種雌馬の貸付規程	事業の目的	趣旨	重種馬の改良及び生産振興
				実施方法	奨励金交付、導入費補助
				受益対象者	重種馬の生産者等
	<p>重種馬の改良及び生産振興を図るため、次に掲げる事業を実施した。</p> <p>i 純粋種雌馬繁殖奨励 公益社団法人日本馬事協会が繁殖登録を受けた純粋種の重種雌馬を外部から導入又は自家生産し保留した飼養者への奨励金の交付(導入・自家保留馬1頭につき360千円以内)</p> <p>ii 重種雌馬繁殖奨励 公益社団法人日本馬事協会が繁殖登録を受けた純粋種以外の重種雌馬を外部から導入又は自家生産し保留した飼養者への奨励金の交付(導入・自家保留馬1頭につき340千円以内)</p> <p>iii ばんえい競馬出走馬繁殖奨励 地方競馬で行われるばんえい競馬において出走経歴を持つ種雌馬を外部から導入又は自家生産し保留した飼養者への奨励金の交付(導入・自家保留馬1頭につき460千円以内)</p> <p>iv 純粋種雌馬導入貸付 公益社団法人日本馬事協会が繁殖登録を受けた純粋種の重種雌馬を外部から導入し、飼養者に3年以上の貸付(導入馬1頭につき360千円以内)</p> <p>v 重種雌馬導入貸付 公益社団法人日本馬事協会が繁殖登録を受けた純粋種以外の重種雌馬を外部から導入し、飼養者に3年以上の貸付(導入馬1頭につき340千円以内)</p> <p>vi ばんえい競馬出走馬導入貸付 地方競馬で行われるばんえい競馬において出走経歴を持つ種雌馬を外部から導入し、飼養者に3年以上の貸付(導入馬1頭につき460千円以内)</p>				
	補助金額(円)	前年度(R4実績)	評価年度(R5実績)	今年度(R6計画)	備考
		41,583,000	63,449,000	-	R5より増頭加算(奨励金対象馬1頭あたり10万円以内)導入
視点別評価	<p>I 計画の達成度</p>  <p>III 事業の効率性(費用対効果)</p> <p>II 事業の有効性</p>			【評価項目】 I 計画の達成度 II 事業の有効性 III 事業の効率性(費用対効果)	
総合評価	評価結果		ランク	ランクの定義	
	合計点	9	A	視点別評価の合計点が10点以上(12点満点)	
	判定(ランク)	B	B	視点別評価の合計点が8点以上10点未満	
			C	視点別評価の合計点が6点以上8点未満	
			D	視点別評価の合計点が6点未満	

【令和5年度畜産振興事業評価結果】

地方競馬全国協会 畜産振興部

事業名		I 馬の改良増殖推進事業 (4) 重種馬の繁殖奨励		事業実施主体名	上川生産農業協同組合連合会 他13団体	
補助金等の名称		種付奨励費、生産奨励費、優良種雄馬改良促進奨励費、優良種雌馬改良促進奨励費、 優良種雌馬保留奨励費、重種馬生産者支援体制強化費				
根拠	【要綱、事業実施要領、その他】 [NAR] (令和5年度)畜産振興事業補助実施要綱 [事業実施主体] 優良種雄馬繁殖奨励金交付規程 子馬生産奨励金交付規程 優良種雄馬改良促進奨励金交付規程 優良種雌馬改良促進奨励金交付規程 優良種雌馬保留奨励金交付規程	事業の目的	趣旨	重種馬の生産促進及び牽引能力の改良		
			実施方法	奨励金交付		
			受益対象者	重種馬の生産者等		
事業の概要	事業の内容	重種馬の生産促進及び牽引能力の改良を図るため、次に掲げる事業を実施した。				
		<p>①優良種雄馬繁殖奨励 種付奨励 当該年に種付した種雄馬の飼養者への奨励金の交付</p> <p>○純粋種種雄馬1頭につき・・・100千円以内 ○純粋種以外種雄馬1頭につき・・・80千円以内</p> <p>②子馬生産奨励 生産奨励 当該年産で、(公社)日本馬事協会が行う血統登録を受けた重種馬の生産者への奨励金の交付</p> <p>○純粋種 ……子馬1頭につき54千円以内 ○純粋種以外……子馬1頭につき54千円以内</p> <p>③改良促進奨励 i 優良種雄馬改良促進奨励 当該年度のばんえい能力検査合格馬(初合格時のみ)の父馬飼養者への奨励金の交付(合格馬1頭につき55千円以内)</p> <p>ii 優良種雌馬改良促進奨励 当該年度のばんえい能力検査合格馬(初合格時のみ)の母馬飼養者への奨励金の交付(合格馬1頭につき220千円以内)</p>				
補助金額(円)	前年度(R4実績)	評価年度(R5実績)	今年度(R6計画)	備考		
	148,646,000	168,865,000	-			
視点別評価	I 計画の達成度			【評価項目】		
				I 計画の達成度 II 事業の有効性 III 事業の効率性(費用対効果)		
総合評価	評価結果		ランク	ランクの定義		
	合計点	9	A	視点別評価の合計点が10点以上(12点満点)		
	判定(ランク)	B	B	視点別評価の合計点が8点以上10点未満		
			C	視点別評価の合計点が6点以上8点未満		
		D	視点別評価の合計点が6点未満			

【令和5年度畜産振興事業評価結果】

地方競馬全国協会 畜産振興部

事業名		I 馬の改良増殖推進事業 (4) 重種馬の繁殖奨励 ④ 生産技術指導		事業実施主体名		公益社団法人 日本馬事協会	
補助金等の名称		指導奨励費、推進事務費					
事業の概要	根拠	【要綱、事業実施要領、その他】		事業の目的	趣旨	重種馬の生産技術向上	
		[NAR] (令和5年度)畜産振興事業補助実施要綱			実施方法	技術研修会の実施、 講習会への奨励金交付	
		[事業実施主体] 重種馬生産技術指導奨励金交付規程			受益対象者	重種馬の生産者、生産者指導団体	
事業の概要	事業の内容	重種馬の生産技術の向上を図るため、次に掲げる事業を実施した。					
		i 生産現場における技術者及び飼養者を対象とする講習会の開催 (開催場所:北海道)					
		ii 生産技術指導を行う地域の農協・農協連等の団体に対して指導奨励金の交付 (開催場所:上川、十勝、釧路、根室、岩手、島根、宮崎)					
iii 生産現場における技術者及び飼養者を対象とする研修会(馬事技術者養成、診療技術、削蹄技術及び生産技術、担い手技術者)の開催 (開催場所は、下記計画目標備考欄)							
iv 重種馬に興味を持っている一般の方を対象とした馬事普及セミナーの開催 (開催場所:熊本)							
補助金額(円)		前年度(R4実績)	評価年度(R5実績)	今年度(R6計画)	備考		
		9,197,000	21,411,000	20,805,980			
視点別評価	I 計画の達成度				【評価項目】 I 計画の達成度 II 事業の有効性 III 事業の効率性(費用対効果)		
	III 事業の効率性(費用対効果)		II 事業の有効性				
総合評価	評価結果		ランク	ランクの定義			
	合計点	10	A	視点別評価の合計点が10点以上(12点満点)			
	判定(ランク)	A	B	視点別評価の合計点が8点以上10点未満			
			C	視点別評価の合計点が6点以上8点未満			
			D	視点別評価の合計点が6点未満			

【令和5年度畜産振興事業評価結果】

地方競馬全国協会 畜産振興部

事業名		I馬の改良増殖推進事業 (5) その他 馬事普及啓発推進	事業実施主体名		公益社団法人 日本馬事協会
補助金等の名称		馬事普及啓発推進費、推進事務費			
事業の概要	根拠	【要綱、事業実施要領、その他】 [NAR] (令和5年度)畜産振興事業補助実施要綱 [事業実施主体] ・馬事普及特別対策事業実施要領 ・優良重種馬表彰実施要領	事業の目的	趣旨	馬事知識の普及、生産技術等の継承、重種馬の資源確保
	事業の内容	<p>本事業においては重種馬の改良増殖、生産・育成・飼養管理技術の向上、一般向けの馬事思想普及啓発（馬事知識の普及、馬の利用増進）、生産者の生産意欲の向上及び生産振興策検討のため、次に掲げる事業を実施している。</p> <p>i 馬事普及特別対策事業 畜産関係団体等が実施したイベント、生産者集団等が実施した生産技術研修、共進会及び生産技術に関する調査・研究開発に対する経費を助成した。</p> <p>ii 馬事思想普及教材配布事業 一般向け普及啓発用教材「馬のいろいろ（パート1～5）」（既作成）を計15,000部増刷し、配布した。</p> <p>iii 馬事関係資料収集事業 令和5年度は実績なし</p> <p>iv 優良重種馬学術調査事業 ①運動能力力学調査研究（山口大学との共同研究） ばんえい競走馬の牽引能力に係る運動メカニズムの解明のための学術調査を実施した。 ②BLUP法馬能力検定調査研究（京都大学との共同研究） ばんえい競走馬（2歳馬）及び十勝牧場の重種馬の体型測尺値、線形審査データ、ばんえい競馬能力検査成績及び産肉成績をもとに、BLUP法アニマルモデルを用いた馬の能力検定に係る評価結果を検証するための学術調査を実施した。 ③呼吸器疾患に関する調査研究（帯広畜産大学との共同研究） ばんえい競走馬等を対象とした呼吸器疾患に対する馬診療専用のビデオ内視鏡システムを用いた実態調査を実施した。 ④受精卵移植技術に関する調査研究（帯広畜産大学との共同研究） 研究ベースで実施されている馬受精卵移植技術を普及・定着するため、十勝牧場において、重種馬に受精卵移植を実施し、その手法等の技術移転を行った。</p> <p>v 重種馬利活用促進 今年度より、ばんえい競馬を引退後に繁殖活動を終えた功労馬の展示等、ばんえい競走馬のセカンドキャリアを検討するため、海外から講師を招聘し、WEB懇談会を実施した。</p> <p>vi 優良重種馬生産者表彰事業 重種馬の生産の指標となる3歳馬の基幹2競走（黒ユリ賞、イレネー記念）出走馬の生産者（のべ20名）及び優良重種馬（多産馬5頭）の飼養者に対し、表彰式典での表彰及び褒草金を交付した。</p> <p>vii 重種馬等生産振興推進事業 重種馬生産との意見交換及び現地調査を実施するため、重種馬生産地（4地区）で、地域懇談会を実施した。また、地域の実態に即した生産振興策を検討するためのブロック会議（北海道、東北及び西日本）を開催した（WEB）。 品種の呼称について、国際的な観点から検討するために、学識経験者を招聘し、座談会を2回実施した。</p>			
補助金額（円）		評価年度（R4実績） 43,503,000	評価年度（R5実績） 35,034,000	今年度（R6計画） 56,505,844	備考
視点別評価				【評価項目】 I 計画の達成度 II 事業の有効性 III 事業の効率性（費用対効果）	
総合評価	評価結果		ランク	ランクの定義	
	合計点	10	A	視点別評価の合計点が10点以上（12点満点）	
	判定（ランク）	A	B	視点別評価の合計点が8点以上10点未満	
			C	視点別評価の合計点が6点以上8点未満	
			D	視点別評価の合計点が6点未満	

【令和5年度畜産振興事業評価結果】

地方競馬全国協会 畜産振興部

事業名	I 馬の改良増殖推進事業 (5) その他 優良重種馬生産奨励		事業実施主体名	帯広市		
補助金等の名称	ばんえい競馬生産奨励費					
事業の概要	根拠	【要綱、事業実施要領、その他】 [NAR] (令和5年度)畜産振興事業補助実施要綱 [事業実施主体] 帯広市優良軌系馬生産奨励金交付要領	事業の目的	趣旨	重種馬(ばんえい競走馬)の資源確保	
				実施方法	生産奨励金の交付	
				受益対象者	重種馬の生産者等	
事業の内容		<p>重種馬生産者の生産意欲を高めることにより、重種馬生産頭数の減少傾向を抑制し、ばんえい競馬の競走馬の資源確保を図るため、次に掲げる事業を実施した。</p> <p>生産奨励費 (生産奨励金の交付)</p> <p>当該年度ばんえい競馬の競走馬として新規登録し、かつ競走に出走した馬の生産者に対する生産者賞の交付(1走あたり12,000円を限度とする)</p> <p>※本事業は、平成29年度まで「優良農用馬資源確保緊急特別対策」として(公社)日本馬事協会が実施していた。</p>				
補助金額(円)	前年度(R4実績)	評価年度(R5実績)	今年度(R6計画)	備考		
	59,208,000	59,196,000	66,000,000			
視点別評価				【評価項目】 I 計画の達成度 II 事業の有効性 III 事業の効率性(費用対効果)		
総合評価	評価結果		ランク	ランクの定義		
	合計点	9	A	視点別評価の合計点が10点以上(12点満点)		
	判定(ランク)	B	B	視点別評価の合計点が8点以上10点未満		
			C	視点別評価の合計点が6点以上8点未満		
			D	視点別評価の合計点が6点未満		

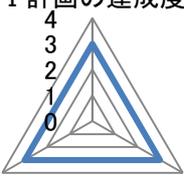
【令和5年度畜産振興事業評価結果】

地方競馬全国協会 畜産振興部

事業名		I馬の改良増殖推進事業 (5) その他 重種種馬施設等整備	事業実施主体名		函館市亀田農業協同組合ほか16 団体
補助金等の名称		機械施設等導入費、施設等整備費、重種馬生産者支援体制強化費			
事業の概要	根拠	【要綱、事業実施要領、その他】 [NAR] (令和5年度)畜産振興事業補助実施要綱 [事業実施主体] 重種種馬施設等整備事業実施要領	事業の目的	趣旨	重種馬の生産振興、担い手確保
				実施方法	機械施設導入及び施設等整備
				受益対象者	重種馬の生産農家
事業の内容		<p>重種馬の生産振興を図るため、次に掲げる事業を実施した。</p> <p>①機械施設等導入 機械施設等の導入に要する経費の一部を補助 ※函館市亀田農業協同組合他14団体 対象者及び補助率 公益社団法人日本馬事協会がNARの補助を受けて実施する「重種種馬導入」において導入するばんえい競馬現役引退雌馬の借受者(補助率:2/3) 重種雌馬の改良増殖推進事業で過去3年間に奨励金の交付を受けた者(補助率:1/2)</p> <p>②施設等整備 重種馬生産施設等の整備に要する経費の一部を補助 ※函館市亀田農業協同組合他10団体 重種馬の飼養頭数の維持・拡大を図るため、重種馬生産に係る施設及び当該施設と一体的に整備する設備を整備する者が対象(補助率:1/2)</p>			
補助金額(円)	前年度(R4実績)	評価年度(R5実績)	今年度(R6計画)	備考	
	205,795,000	207,103,000	218,084,611	R6計画欄に記載の額は10月末時点でのもの	
視点別評価	<p>I 計画の達成度</p> <p>III 事業の効率性 (費用対効果)</p> <p>II 事業の有効性</p>			【評価項目】 I 計画の達成度 II 事業の有効性 III 事業の効率性(費用対効果)	
総合評価	評価結果		ランク	ランクの定義	
	合計点	9	A	視点別評価の合計点が10点以上(12点満点)	
	判定(ランク)	B	B	視点別評価の合計点が8点以上10点未満	
			C	視点別評価の合計点が6点以上8点未満	
		D	視点別評価の合計点が6点未満		

【令和4年度畜産振興事業評価結果】

地方競馬全国協会 畜産振興部

事業名		I 馬の改良増殖推進事業 (5) その他 重種種馬施設等整備		事業実施主体名	新函館農業協同組合
補助金等の名称		機械施設等導入費、施設等整備費、重種馬生産者支援体制強化費			
事業の概要	根拠	【要綱、事業実施要領】 [NAR] (令和4年度)畜産振興事業補助実施要綱 重種種馬施設等整備事業実施要領	事業の目的	趣旨	重種馬の生産振興、担い手確保
				実施方法	機械施設導入及び施設等整備
				受益対象者	重種馬の生産農家
事業の内容		重種馬の生産振興を図るため、次に掲げる事業を実施した。			
①機械施設等導入		機械施設等の導入に要する経費の一部を補助			
対象者及び補助率		公益社団法人日本馬事協会がNARの補助を受けて実施する「重種種馬導入」において導入するばんえい競馬現役引退雌馬の借受者(補助率:2/3)			
重種種雌馬の改良増殖推進事業で過去3年間に奨励金の交付を受けた者(補助率:1/2)					
補助金額(円)	前年度(R4実績)	評価年度(R5実績)	今年度(R6計画)	備考	
		46,190,000			
視点別評価	I 計画の達成度 4 3 2 1 0 			【評価項目】	
	III 事業の効率性(費用対効果)	II 事業の有効性		I 計画の達成度 II 事業の有効性 III 事業の効率性(費用対効果)	
総合評価	評価結果		ランク	ランクの定義	
	合計点	9	A	視点別評価の合計点が10点以上(12点満点)	
			B	視点別評価の合計点が8点以上10点未満	
			C	視点別評価の合計点が6点以上8点未満	
判定(ランク)	B	D	視点別評価の合計点が6点未満		

【令和5年度畜産振興事業評価結果】

地方競馬全国協会 畜産振興部

事業名		Ⅱ 畜産経営技術指導事業 (1) 地域畜産支援指導等体制強化		事業実施主体名	公益社団法人 中央畜産会
補助金等の名称		畜産経営支援体制強化推進費、地域畜産活性化・食の安定供給対策推進費			
事業の概要	根拠	【要綱、事業実施要領、その他】 [NAR] (令和5年度) 畜産振興事業補助実施要綱 [事業実施主体] ①総括畜産コンサルタント資格試験実施要領 ②令和5年度畜産関係団体調整機能強化事業委託要領 ③令和5年度全国優良畜産経営管理技術発表会開催要領	事業の目的	趣旨	畜産経営の安定及び高度化
	事業の内容	<p>道府県畜産協会等が実施する地域畜産支援指導等体制強化事業に準ずる業務及び道府県畜産協会等の支援指導を行う次に掲げる事業を実施した。</p> <p>i 畜産経営の支援体制の強化を図る事業 〈道府県畜産協会等が実施する地域畜産支援指導等体制強化事業に準ずる事業〉 ・総括畜産コンサルタント資格試験の実施(試験委員:10名、書類審査、面接試験、受験者31名、合格者18名) ・畜産会業務円滑化推進業務の実施(ブロック会議への派遣延べ10名) ・新任基礎研修(研修者数53名、計3回/いずれも対面開催) ・経営指導従事者研修(研修者延べ32名、計3回/いずれも対面開催) ・総括畜産コンサルタント研修(研修者数27名、計1回/いずれも対面開催) ・管理責任者等研修(研修者:延べ492名、計4回/いずれも対面開催) ・農林水産省中央畜産技術研修会(派遣者数延べ108名、計21講座)(うち研修旅費一部補助者延べ49名) ・海外畜産事情研修(研修者:計6名、事前研修計4回/オランダ・ドイツ・デンマークにて実施) ・経営指導成果普及検討事業(全国優良畜産経営管理技術発表会(令和5年11月29日))</p> <p>ii 地域畜産の活性化、安全かつ安定的な食の提供に資するための事業 〈畜産関係団体の活性化及び連携強化と生産者を中心とする支援組織づくりの推進〉 ・畜産関係団体の調整機能の強化事業(50団体:道府県畜産協会等) ・畜産経営相談窓口機能設置事業(51団体:道府県畜産協会等) ・電算処理事業(畜産経営データベース及び畜特利子補給等電算処理関係業務の請負) ・出版事業(月刊誌「畜産コンサルタント」、特別出版物の発行)</p> <p>iii 馬事普及啓発の推進体制の強化を図る事業 ・地方競馬開催支援促進事業(競馬開催11道県)</p>			
補助金額(円)		前年度(R4実績)	評価年度(R5実績)	今年度(R6計画)	備考
		255,318,000	283,742,000	283,742,000	
視点別評価				【評価項目】 I 計画の達成度 II 事業の有効性 III 事業の効率性(費用対効果)	
総合評価	評価結果		ランク	ランクの定義	
	合計点	8	A	視点別評価の合計点が10点以上(12点満点)	
	判定(ランク)	B	B	視点別評価の合計点が8点以上10点未満	
			C	視点別評価の合計点が6点以上8点未満	
			D	視点別評価の合計点が6点未満	

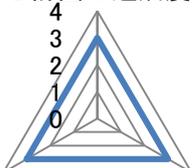
【令和5年度畜産振興事業評価結果】

地方競馬全国協会 畜産振興部

事業名	Ⅱ 畜産経営技術指導事業 (1) 地域畜産支援指導等体制強化		事業実施主体名	(一社)北海道酪農畜産協会 他全国45団体	
補助金等の名称	畜産経営支援体制強化推進費、地域畜産活性化・食の安定供給対策推進費、 馬事普及啓発推進費				
事業の概要	根拠	【要綱、事業実施要領、その他】 [NAR] (令和5年度)畜産振興事業補助実施要綱	事業の目的	趣旨	地域畜産経営の安定及び高度化
	事業の内容	道府県の支援を受けて、地域畜産経営の安定及び高度化を図る次に掲げる事業を実施した。 ア 畜産経営の支援体制の強化を図る事業 高度な経営技術を基礎とした効率的で生産性の高い畜産経営の発展を推進するため、畜産農家等に対して、経営診断による改善指導、フォローアップ指導等の経営指導を行い、ホームページ等で広く経営情報を提供し、畜産経営技術の高度化及び経営改善を図ること等を目的とした事業の実施 イ 地域畜産の活性化、安全かつ安定的な食の提供に資するための事業 地域畜産の実情に応じたブランド化事業等の推進や食育及びふれあい体験活動を通じた畜産の普及啓発、家畜伝染病や食肉の安全性等の情報を正確に伝達し、国内畜産への理解醸成と国産食肉の安全安心の周知を図ること等を目的とした地域畜産物の活性化のための事業や、一般消費者への普及・PR活動、畜産物の安全かつ安定的供給に資する事業の実施 ウ 馬事普及啓発の推進体制の強化を図る事業 地方競馬の開催日等に合わせた観戦ツアー、畜産フェア等のイベントの実施や、各種イベントにおける馬事振興などを実施し、地域における馬事・畜産の普及啓発を図ること等を目的とした事業の実施			
	補助金額(円)	前年度(R4実績)	評価年度(R5実績)	今年度(R6計画)	備考
		699,215,000	992,465,000	999,975,937	
視点別評価	<p>I 計画の達成度 4 3 2 1 0 III 事業の効率性 (費用対効果) II 事業の有効性</p>			<p>【評価項目】</p> <p>I 計画の達成度</p> <p>II 事業の有効性</p> <p>III 事業の効率性(費用対効果)</p>	
総合評価	評価結果		ランク	ランクの定義	
	合計点	9	A	視点別評価の合計点が10点以上(12点満点)	
	判定(ランク)	B	B	視点別評価の合計点が8点以上10点未満	
			C	視点別評価の合計点が6点以上8点未満	
			D	視点別評価の合計点が6点未満	

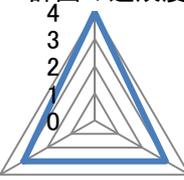
【令和5年度畜産振興事業評価結果】

地方競馬全国協会 畜産振興部

事業名	Ⅱ 畜産経営技術指導事業 (2) その他 馬の装蹄技術講習及び装蹄師の養成		事業実施主体名	公益社団法人 日本装蹄協会		
補助金等の名称	馬の装蹄技術講習及び装蹄師の養成					
事業の概要	根拠	【要綱、事業実施要領、その他】 [NAR] (令和5年度)畜産振興事業補助実施要綱 [事業実施主体] 馬装蹄技術向上研究会実施要領 国際装蹄技術交流事業実施要領	事業の目的	趣旨	装蹄技術の研修及び普及	
				実施方法	装蹄師の養成及び認定 装蹄技術の調査研究及び普及奨励	
				受益対象者	生産者等馬関係者 地方競馬場装蹄師	
事業の概要	<p>現役の馬装蹄師の技術向上及び馬装蹄師を目指す者を養成するため、次に掲げる事業を実施した。</p> <p>i 馬装蹄技術向上研究会 ①全国の地方競馬場を7ブロックに分け、令和5年度は関東地区(大井競馬場)、中四国地区(高知競馬場)を選定し、地方競馬場装蹄師及び馬関係者を対象にした研修会を開催した。(大井競馬場:参加者20名、高知競馬場:参加者7名) ②最新の装蹄技術とその理論的な背景の習得を目的として、競馬先進国である米国へ4名(うち随行2名)を派遣した。また、令和4年度の派遣者による帰国後の報告研修会を実施した(参加者30名、前年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止)。</p> <p>ii 馬装蹄師の養成 ①事業実施主体が有する装蹄教育センター(宇都宮)で行う1年間の装蹄師講習会(装蹄師認定講習会)の一環として行う、より実践的な実技研修のため、地方競馬教養センター(栃木県那須塩原市)での実馬を用いた学外装蹄実習を開催(1回あたり受講者数8名の2班体制で、18回)。 ②特殊装蹄法を応用した実践的な装蹄法の体験実習や、地方競馬場における厩舎関係者や開業装蹄師の就業状況についての見学を高知競馬場で実施。</p>					
補助金額(円)	前年度(R4実績)	評価年度(R5実績)	今年度(R6計画)	備考		
	10,966,000	13,856,000	15,248,000			
視点別評価	<p>I 計画の達成度</p>  <p>III 事業の効率性(費用対効果)</p> <p>II 事業の有効性</p>			<p>【評価項目】</p> <p>I 計画の達成度</p> <p>II 事業の有効性</p> <p>III 事業の効率性(費用対効果)</p>		
総合評価	評価結果		ランク	ランクの定義		
	合計点	9	A	視点別評価の合計点が10点以上(12点満点)		
	判定(ランク)	B	B	視点別評価の合計点が8点以上10点未満		
			C	視点別評価の合計点が6点以上8点未満		
			D	視点別評価の合計点が6点未満		

【令和5年度畜産振興事業評価結果】

地方競馬全国協会 畜産振興部

事業名	Ⅱ 畜産経営技術指導事業 (2) その他 畜産技術情報収集・提供事業		事業実施主体名	公益社団法人 畜産技術協会	
補助金等の名称	調査費、研修等開催費、技術情報提供費、推進事務費				
事業の概要	根拠	【要綱、事業実施要領、その他】 [NAR] (令和5年度)畜産振興事業補助実施要綱 [事業実施主体] (令和5年度)畜産技術情報収集・提供事業実施要領	事業の目的	趣旨	最新の畜産技術情報を収集・選定し、畜産関係者に提供する
	事業の内容	生産現場ならびに畜産技術者のニーズに合った情報の調査・収集を行うとともに、新たにブロック単位での研修会の開催や科学技術振興機構(JST)の科学技術情報サイトへの記事掲載、バックナンバーを含めた畜産情報誌のWebサイトの構築等を実施することで、畜産関係者に対して畜産技術情報を継続的に広く提供し、畜産技術の普及・定着を図る。 1.畜産技術情報収集事業 ・専門家による検討を踏まえた技術情報の収集・選定 ・生産現場等における具体的な取組事例等の現地調査実施 2.畜産技術情報提供事業 ・都道府県、試験研究機関、畜産経営者等を対象とした研修会開催に対する補助 ・農業関係教育機関への情報誌の寄贈、及びインターネットでの情報発信			
	補助金額(円)	前年度(R4実績)	評価年度(R5実績)	今年度(R6計画)	備考
		18,642,000	22,598,000	24,372,000	
視点別評価	I 計画の達成度 4 3 2 1 0  III 事業の効率性(費用対効果) II 事業の有効性			【評価項目】 I 計画の達成度 II 事業の有効性 III 事業の効率性(費用対効果)	
総合評価	評価結果		ランク	ランクの定義	
	合計点	10	A	視点別評価の合計点が10点以上(12点満点)	
	判定(ランク)	A	B	視点別評価の合計点が8点以上10点未満	
			C	視点別評価の合計点が6点以上8点未満	
			D	視点別評価の合計点が6点未満	

【令和5年度畜産振興事業評価結果】

地方競馬全国協会 畜産振興部

事業名	Ⅲ 畜産経営合理化事業 1 酪農生産対策 その他 飼養管理指標検査普及推進		事業実施主体名	公益財団法人 日本乳業技術協会	
補助金等の名称	会議等開催費、校正乳採取・検査費、推進事務費				
事業の概要	根拠	【要綱、事業実施要領、その他】 [NAR] (令和5年度)畜産振興事業補助実施要綱 [事業実施主体] 校正乳用原料生乳関係業務委託要領	事業の目的	趣旨	脂肪酸組成、遊離脂肪酸に係る校正乳の安定的な調達の定着
	事業の内容	<p>生乳検査によって得られる各種データは乳牛の飼養管理の指標としても重要であり、飼料等生産資材の価格高騰が続く中、無駄のない飼料管理で高品質な生産を行うためにも精度の高いデータの提供が求められている状況にある。</p> <p>本事業では乳牛の飼養管理の指標として活用されている脂肪酸組成と遊離脂肪酸について、酪農の生産現場に安定的に正確なデータを届けるため、精度管理手法に関する検査技術者連絡会や研修会を開催して外部精度管理調査体制の強化を図る。</p> <p>また、校正乳を確保するうえで近年集乳路線の選定が困難になってきていることや、原料用生乳の取り扱いに高度な技術が求められることから、校正乳原料用生乳の安定的な調達の定着に向けた調査・検討を併せて行う。</p> <p>(1)飼養管理指標検査の精度管理体制強化普及 ①精度管理手法普及推進検討会の開催 ②校正乳の調製・提供 ③脂肪酸組成の生乳検査所のネットワーク構築と外部精度管理調査の実施 ④脂肪酸組成の精度管理手法に関する検査技術者連絡会の開催 ⑤脂肪酸組成の普及のための研修会の開催</p> <p>(2)校正乳提供体制整備調査 ①原料乳安定調達のための検討会の開催 ②生乳成分の地域・季節・経年変化の調査・分析 ③原料乳の選定検査及び採取</p>			
	補助金額(円)	前年度(R4実績)	評価年度(R5実績)	今年度(R6計画)	備考
			17,572,000	20,013,329	
視点別評価	<p>I 計画の達成度 4 3 2 1 0</p> <p>Ⅲ 事業の効率性 (費用対効果)</p> <p>Ⅱ 事業の有効性</p>			【評価項目】 I 計画の達成度 II 事業の有効性 III 事業の効率性(費用対効果)	
総合評価	評価結果		ランク	ランクの定義	
	合計点	10	A	視点別評価の合計点が10点以上(12点満点)	
	判定(ランク)	A	B	視点別評価の合計点が8点以上10点未満	
			C	視点別評価の合計点が6点以上8点未満	
			D	視点別評価の合計点が6点未満	

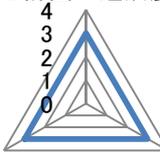
【令和5年度畜産振興事業評価結果】

地方競馬全国協会 畜産振興部

事業名	Ⅲ畜産経営合理化事業 4草地・飼料の有効利用促進 その他 放牧を中心とした持続的畜産普及拡大推進		事業実施主体名	一般社団法人 日本草地畜産種子協会	
補助金等の名称	放牧指導者等育成研修会開催費、現地指導・課題調査費、認証拡大・関係者交流促進費、消費者理解醸成・情報提供・交流会開催費、推進事務費				
事業の概要	根拠	【要綱、事業実施要領、その他】 [NAR] (令和5年度)畜産振興事業補助実施要綱	事業の目的	趣旨	持続的な畜産経営の実現のための放牧の推進
		[事業実施主体] ①放牧等持続的畜産普及促進事業実施要領 ②放牧畜産研修牧場設置要領 ③放牧畜産実践展示牧場設置要領		実施方法	放牧指導者等育成のための研修会の開催 放牧指導者による現地指導、課題調査 消費者理解醸成・情報提供、交流会開催 放牧等持続的畜産推進のための検討委員会の開催等
				受益対象者	畜産農家、一般消費者等
事業の内容	<p>放牧の推進により持続的な畜産経営の実現を目指し、食糧自給率の向上に資するため、以下の事業を実施した。</p> <p>(1) 放牧指導者等育成研修会開催 ・放牧技術の向上を図るため、普及関係機関や生産者等をオンライン方式で1回、地域の関係団体との共催による研修会を計2回対面にて開催した。</p> <p>(2) 放牧指導者による現地指導、課題調査等 ・放牧アドバイザー等を派遣した現地指導を延べ18回実施し、課題やニーズを把握するため3箇所での調査を実施した。 ・放牧アドバイザー等による現地確認を延べ39箇所で行った。放牧畜産基準認証の拡大推進を実施した。 ・情報交流促進のため、全国放牧畜産ネットワーク協議会の活動を支援した。</p> <p>(3) 消費者理解醸成・情報提供、交流会開催 ・放牧畜産物の普及を図るため、日本最大の農業総合展への出店や放牧酪農乳製品フェア、普及展示を3回実施し、生産者や消費者に対して普及活動を行った。 ・放牧畜産実践牧場について紹介ビデオを作成し、ホームページにて紹介したほか、新たな畜産物普及用のホームページ作成のための検討会を行った。 ・消費者との交流会を開催し、意見交換を行った。</p> <p>(4) 検討委員会の開催等放牧等持続的畜産推進 ・普及啓発のためのホームページの作成、消費者との交流促進等推進活動、放牧指導者育成研修会についての内容を検討するため、計3回検討委員会を実施した。 ・令和5年度事業の実施状況を踏まえ、令和6年度事業について議論するための検討会を実施した。</p>				
	補助金額(円)	前年度(R4実績)	評価年度(R5実績)	今年度(R6計画)	備考
	39,691,000	42,623,000	45,015,000		
視点別評価	<p>I 計画の達成度</p>  <p>Ⅲ事業の効率性 (費用対効果)</p> <p>Ⅱ事業の有効性</p>			【評価項目】 I 計画の達成度 II 事業の有効性 III 事業の効率性(費用対効果)	
総合評価	評価結果		ランク	ランクの定義	
	合計点	10	A	視点別評価の合計点が10点以上(12点満点)	
	判定(ランク)	A	B	視点別評価の合計点が8点以上10点未満	
			C	視点別評価の合計点が6点以上8点未満	
			D	視点別評価の合計点が6点未満	

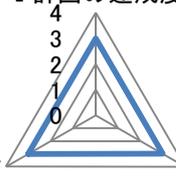
【令和5年度畜産振興事業評価結果】

地方競馬全国協会 畜産振興部

事業名	Ⅲ畜産経営合理化事業 6 家畜衛生推進 その他 経口ワクチン散布技術効率化		事業実施主体名	公益社団法人 中央畜産会	
補助金等の名称	現状調査費、検証調査費、普及・定着資料費、推進事務費				
事業の概要	根拠	【要綱、事業実施要領、その他】 [NAR] (令和5年度)畜産振興事業補助実施要綱 [事業実施主体] 事業実施要領 委託事業実施計画書	事業の目的	趣旨	調査や検証を実施することで豚熱用経口ワクチン散布の効率化を図る
				実施方法	現状のワクチン散布方法の調査、ワクチン散布方法の選定技術検証、映像資料作成
				受益対象者	養豚農家等
事業の内容	養豚に甚大な影響を与える豚熱は、日本では過去にワクチン接種によって撲滅し清浄国となった歴史もあるものの、平成30年を皮切りに国内での再発が確認されている。経口ワクチンの散布は、欧州で清浄化に成功した実績からも、野生イノシシにおける豚熱の伝播を防止するために効果的かつ不可欠な手法ではあるが、日本での散布実績は乏しく、地形や環境等を踏まえた散布方法を選択するなど、欧州の散布方法を参考とする以外の改善を図る必要がある。本事業では、ワクチンの散布地点・散布方法選定の差異による効果への影響を分析するために必要な取り組みを行い、適切な散布技術の普及定着を目的としている。 (1)経口ワクチンの散布地点・散布方法選定の現状調査 豚熱経口ワクチンの散布地点・散布方法の差異による影響を分析するため、現状の把握に必要な取組として、都府県協議会独自の実施計画を策定し、散布地点の選定、餌付け、散布、回収、データ取りまとめ等を実施した。 (2)経口ワクチンの散布地点・散布方法の選定技術の検証 野生イノシシにおける豚熱の発生状況に応じたワクチンの散布地域・散布方法の選定技術の検証を行うため、専門知識を有する研究機関等で構成するコンソーシアムに委託し、イノシシの生態に関連したワクチン散布地点・方法と摂食率の調査、データ回収・分析、取りまとめを行った。 (3)経口ワクチンの散布地点・散布方法の選定技術の普及・定着 野生イノシシを対象とした豚熱経口ワクチンの散布地点・散布方法についてコンソーシアムに委託し、(2)の成果に基づき、映像資料の作成に向け素材の収集・構成内容の検討を行うとともに選定技術説明会を実施した。				
補助金額(円)	前年度(R4実績)	評価年度(R5実績)	今年度(R6計画)	備考	
		736,359,000	1,272,773,000		
視点別評価	I 計画の達成度  III 事業の効率性 (費用対効果) II 事業の有効性			【評価項目】 I 計画の達成度 II 事業の有効性 III 事業の効率性(費用対効果)	
総合評価	評価結果		ランク	ランクの定義	
	合計点	9	A	視点別評価の合計点が10点以上(12点満点)	
	判定(ランク)	B	B	視点別評価の合計点が8点以上10点未満	
			C	視点別評価の合計点が6点以上8点未満	
			D	視点別評価の合計点が6点未満	

【令和5年度畜産振興事業評価結果】

地方競馬全国協会 畜産振興部

事業名		V その他畜産振興事業 馬事畜産振興推進		事業実施主体名	馬事畜産振興協議会
補助金等の名称		馬事畜産振興推進費			
事業の概要	根拠	【要綱、事業実施要領、その他】 [NAR] (令和5年度)畜産振興事業補助実施要綱		趣旨	地方競馬の畜産振興への寄与についてのPR 畜産物の消費拡大 地方競馬支援
		[事業実施主体] 馬事畜産振興推進事業実施要領		実施方法	畜産フェア等の実施、冠競走への支援等
				受益対象者	一般消費者等
事業の内容		<p>地方競馬における畜産振興への取組をPRするため、次に掲げる事業を実施した。</p> <p>i 道府県関係費(地方競馬支援・畜産・畜産物の普及啓発) ・冠競走実施(173回)、畜産フェア等の開催(130回)及び競馬見学会等(34回)【馬事畜産地方協議会対応】</p> <p>ii 畜産フェア ・イベント(競馬の社会貢献性を普及啓発する資料と畜産物を提供) ①ばんえいグランプリ(帯広競馬場・8月・表彰式典での授与) ②動物感謝デー(ブース出展、サンプリングキット及び横濱ビーフレトルトカレーを500セット配布) ③畜産フェアinJBC大井(大井競馬場・11月・サンプリングキット及び東京牛乳サブレ2,600セット配布) ④畜産フェアinばんえい十勝(帯広競馬場・3月・サンプリングキット及びLL牛乳1,500セット配布) ・WEB畜産フェア(クイズ・アンケート回答者から抽選で畜産物等をプレゼント) ①ダービーシリーズキャンペーン、②JBC畜産フェア、③ばんえい十勝キャンペーン</p> <p>iii 中央支援費 ・東京食肉市場まつり(サンプリングキット2,000セット配布) ・日本学校農業クラブ全国大会への協賛</p> <p>iv 地方支援費(家畜に係わる伝統行事支援)平成30年度より実施 ・チャグチャグ馬コや相馬野馬追等、全国各地の家畜に係わる伝統行事(109団体)の保存活動を支援</p> <p>v 地域畜産物の贈呈 ・ダートグレード競走等基幹競走21競走の優勝馬主等(21名) ・地方競馬シリーズ競走上位騎手(3名×2シリーズ)</p> <p>vi 地方競馬主催者等のキャンペーンへの地域畜産物贈呈</p> <p>vii 地方競馬の公益プロモーションビデオの広報活動 R3年度に作成したプロモーションビデオを競馬場、インターネット、イベント出展ブースで放映</p>			
補助金額(円)	前年度(R4実績)	評価年度(R5実績)	今年度(R6計画)	備考	
	146,364,000	145,241,000	183,500,000	R5から牛乳乳製品普及対策を移管	
視点別評価	<p>I 計画の達成度</p>  <p>III 事業の効率性(費用対効果)</p> <p>II 事業の有効性</p>			【評価項目】 I 計画の達成度 II 事業の有効性 III 事業の効率性(費用対効果)	
総合評価	評価結果		ランク	ランクの定義	
	合計点	9	A	視点別評価の合計点が10点以上(12点満点)	
	判定(ランク)	B	B	視点別評価の合計点が8点以上10点未満	
			C	視点別評価の合計点が6点以上8点未満	
			D	視点別評価の合計点が6点未満	

【令和5年度畜産振興事業評価結果】

地方競馬全国協会 畜産振興部

事業名	V その他畜産振興事業 馬事畜産振興推進 (牛乳乳製品普及対策)		事業実施主体名	馬事畜産振興協議会	
補助金等の名称	馬事畜産振興推進費				
事業の概要	根拠	【要綱、事業実施要領、その他】 [NAR] (令和5年度)畜産振興事業補助実施要綱 [事業実施主体] 馬事畜産振興推進事業実施要領	事業の目的	趣旨	生乳廃棄回避のための牛乳乳製品 需要の喚起、拡大
				実施方法	WEBキャンペーンによる乳製品の提供 競馬場来場者への飲用乳等の提供
				受益対象者	国内の酪農家等
	事業の内容	<p>長引く飼料原料価格及び資材価格の高騰、生乳の消費低迷によって、我が国の酪農を取り巻く環境は厳しい状況が続いている。乳業メーカーでは保存期間の長いチーズやヨーグルトの生産を増やし、生乳廃棄を回避しているが、特に、小中学校等の春休み期間にあたり、学校給食用牛乳の需要がなくなる3月にかけて、生乳廃棄の可能性が懸念される。このような状況では、我が国の酪農に大きな影響を及ぼすことから、「地方競馬ミルクウィーク」と題し、畜産振興の一環として牛乳製品の需要の喚起、消費拡大等を緊急的に実施した。</p> <p>1.地方競馬ミルクウィーク(3月14日～3月20日)の実施</p> <p>(1)地方競馬場での牛乳・ヨーグルト等の配布 道府県協議会と連携を図り、全国13の地方競馬場において地域の牛乳・ヨーグルト等を来場者に配布した。</p> <p>(2)地方競馬場での冠レースの実施及び副賞(乳製品)の提供 期間中、競馬開催のあった地方競馬場9場において、冠レースを実施し、副賞として優勝馬の馬主・騎手・調教師・厩務員等に地域の乳製品を贈呈した。</p> <p>(3)地方競馬ミルクウィークの広告宣伝 取り組みを一般消費者に広く周知するために、特設サイトを作成し、広告宣伝を行った。</p>			
	補助金額(円)	前年度(R4実績)	評価年度(R5実績)	今年度(R6計画)	備考
		14,892,000	29,195,000		
視点別評価	<p>I 計画の達成度</p> <p>III 事業の効率性 (費用対効果)</p> <p>II 事業の有効性</p>			<p>【評価項目】</p> <p>I 計画の達成度</p> <p>II 事業の有効性</p> <p>III 事業の効率性(費用対効果)</p>	
総合評価	評価結果		ランク	ランクの定義	
	合計点	10	A	視点別評価の合計点が10点以上(12点満点)	
	判定(ランク)	A	B	視点別評価の合計点が8点以上10点未満	
			C	視点別評価の合計点が6点以上8点未満	
			D	視点別評価の合計点が6点未満	

【令和5年度畜産振興事業評価結果】

地方競馬全国協会 畜産振興部

事業名	V その他畜産振興事業 その他 馬人材育成体制整備		事業実施主体名	国立大学法人北海道国立大学機構 帯広畜産大学	
補助金等の名称	施設等整備費、飼養環境整備費、馬人材育成プログラム策定費、推進事務費				
事業の概要	根拠	【要綱、事業実施要領、その他】 [NAR] (令和5年度)畜産振興事業補助実施要綱 [事業実施主体]	事業の目的	趣旨	高度な技術を有する馬人材の養成及び馬産業への輩出
	事業の内容	<p>現在、馬生産者の高齢化や馬生産に関する担い手不足による飼養戸数の減少、また獣医師や装蹄師等の技術者や指導者等の不足が懸念されており、馬人材の確保が求められている状況にある。</p> <p>本事業では高度な技術を有する馬人材の育成体制を整備し、継続的に馬産業に人材を輩出するため、馬に関する総合的な知見や科学的な研究を行うために必要な知識を提供する「総合ウマ科学教育プログラム」を策定・設置し、またプログラムの実施に必要なとなる施設や備品等を整備することで、もって馬産業の発展に資することを目的としている。</p> <p>(1)施設等整備事業 ・実馬を用いた実践的な教育を展開するため、繋留場、厩舎、馬管理棟の設置及び備品等を整備した。</p> <p>(2)飼養環境整備事業 ・プログラム実施に向けた準備を行うため、教育プログラムに使用する馬の馴致及び飼養管理を実施した。 ・馬の取り扱いに長けた技術補佐員を雇用した。</p> <p>(3)馬人材育成プログラム策定事業 ・実務経験者等による外部有識者会議を設置し、事業の実施内容について助言、検証を行った。 ・令和6年度から開講する馬人材育成プログラムに係る選択科目実施に向け、学内体制を整備した。 ・馬関連団体等でのニーズ調査を実施し、社会人向け教育プログラムの検討を行った。 ・事務補佐員を雇用し、事業の推進に努めた。</p>	実施方法	教育環境の整備、馬人材育成プログラムの策定	
			受益対象者	馬産地、学生等	
補助金額(円)	前年度(R4実績)	評価年度(R5実績)	今年度(R6計画)	備考	
		255,961,000	317,228,000		
視点別評価	<p>I 計画の達成度</p> <p>III 事業の効率性(費用対効果)</p> <p>II 事業の有効性</p>			【評価項目】 I 計画の達成度 II 事業の有効性 III 事業の効率性(費用対効果)	
総合評価	評価結果		ランク	ランクの定義	
	合計点	9	A	視点別評価の合計点が10点以上(12点満点)	
	判定(ランク)	B	B	視点別評価の合計点が8点以上10点未満	
			C	視点別評価の合計点が6点以上8点未満	
			D	視点別評価の合計点が6点未満	

【令和5年度畜産振興事業評価結果】

地方競馬全国協会 畜産振興部

事業名		V その他畜産振興事業 その他 畜産振興特別対策（農場消毒強化技術確立・技術移転）	事業実施主体名		公益社団法人 畜産技術協会
補助金等の名称		消毒技術現地検証費、消毒技術移転費、推進事務費			
事業の概要	根拠	【要綱、事業実施要領、その他】 [NAR] (令和5年度)畜産振興事業補助実施要綱 [事業実施主体] 委託事業実施計画書	事業の目的	趣旨	農場における新たな消毒法の普及により安全な畜産物生産に資する
	事業の内容	<p>令和4年度、我が国において鳥インフルエンザが猛威を振るい、また豚熱等家畜伝染病の感染リスクが高まっている状況において、より一層農場におけるバイオセキュリティの強化が求められており、防疫資材の交換等による物理的障壁と消毒等による化学的障壁の両方を強化する必要がある。</p> <p>本事業ではこのうち化学的障壁について、農場において利用頻度の高い逆性石鹼をより効果的に使用できるようにするため、従来の消石灰を使用したものより高い効果を発揮することが期待される、マイクロ水酸化カルシウムとの混合消毒液を使用した消毒法（以下、「マイクロMIX法」という。）の効果検証を行い、得られた調査結果や消毒法の手順等をまとめたパンフレットの作成・配布や映像資料の公開により、畜産農家に技術を移転することを目的としている。</p> <p>(1)消毒技術現地検証事業 ・マイクロMIX法にて消毒を実施した農場（7養鶏場、2孵化場）の鶏舎や長靴等における消毒効果を、指標病原体の分離頻度や生産性の変化を基に検証した。 （指標病原体の検査は（一財）生物科学安全研究所に委託して実施）</p> <p>(2)消毒技術移転事業 ・検証結果や実施手順等を取りまとめたパンフレット（4種類17,000部）を作成、配布した。 ・全国4箇所で開催した。 ・混合消毒液の利用方法や作用する仕組み、製作・散布の様子等をまとめた映像資料を作成し、WEBで配信等を行った。 （映像資料は（株）農林放送事業団に委託して作成）</p>			
補助金額（円）		前年度（R4実績）	評価年度（R5実績）	今年度（R6計画）	備考
			22,880,000		
視点別評価	<p>I 計画の達成度</p> <p>II 事業の有効性</p> <p>III 事業の効率性（費用対効果）</p>			<p>【評価項目】</p> <p>I 計画の達成度</p> <p>II 事業の有効性</p> <p>III 事業の効率性（費用対効果）</p>	
総合評価	評価結果		ランク	ランクの定義	
	合計点	10	A	視点別評価の合計点が10点以上（12点満点）	
	判定（ランク）	A	B	視点別評価の合計点が8点以上10点未満	
			C	視点別評価の合計点が6点以上8点未満	
			D	視点別評価の合計点が6点未満	

【令和5年度畜産振興事業評価結果】

地方競馬全国協会 畜産振興部

事業名	Vその他畜産振興事業 その他 畜産振興特別対策 (畜産物の適正な価格形成に向けた理解醸成特別対策)	事業実施主体名	公益社団法人 中央畜産会			
補助金等の名称	検討会議開催費、広報活動費					
事業の概要	根拠	事業の目的	趣旨	生産コストの高騰に合わせた畜産物価格の設定に対し消費者の理解醸成を図る		
			実施方法	広報資材の作成及び各種メディアへの掲出		
			受益対象者	畜産農家等		
	<p>国際的な物価高騰や為替レートの円安基調、ウクライナ情勢等による穀物価格の高騰により、飼料価格が著しく高騰している状況下において、わが国ではそうした飼料高騰等により生産コストが増大した分を小売価格に十分反映できているとは言えず、酪農家をはじめとした畜産農家の経営は非常に厳しいものとなっている。こうした苦境を打開するため、畜産物の生産現場の実態を消費者と共有することで畜産業への理解醸成を図り、小売価格に上昇した生産コストを転嫁するための事業を以下のとおり行った。</p> <p>(1) 検討会議開催事業 ・広報資材作成のため、企画競争入札を実施し業者を決定した。 ・広報資材の内容等を検討するため関係機関及び広告制作者等と打合会を4回実施した。</p> <p>(2) 広報活動事業 作成した広報資材について、以下のとおり掲出した。 ・読売新聞、日本農業新聞、首都圏のリビング新聞に広告を2回掲載した。 ・全国規模でテレビCMを約一か月間放映した。 ・全国の鉄道駅構内で約3週間広告を掲載した。 ・全国の鉄道車両内で映像広告を約1か月間放映した。</p>					
補助金額(円)	前年度(R4実績)	評価年度(R5実績)	今年度(R6計画)	備考		
		244,159,000				
視点別評価	<p>I 計画の達成度 II 事業の有効性 III 事業の効率性 (費用対効果)</p>			<p>【評価項目】</p> <p>I 計画の達成度 II 事業の有効性 III 事業の効率性(費用対効果)</p>		
総合評価	評価結果		ランク	ランクの定義		
	合計点	10	A	視点別評価の合計点が10点以上(12点満点)		
	判定(ランク)	A	B	視点別評価の合計点が8点以上10点未満		
			C	視点別評価の合計点が6点以上8点未満		
			D	視点別評価の合計点が6点未満		

【令和5年度畜産振興事業評価結果】

地方競馬全国協会 畜産振興部

事業名	Vその他畜産振興事業 その他 畜産振興特別対策 (畜産物輸出対応生産円滑化緊急対策)		事業実施主体名	一般社団法人 日本畜産物輸出促進協会		
補助金等の名称	会議・研修会等開催費、理解醸成関係資料作成費、輸出相談窓口設置運営費、推進事務費					
事業の概要	根拠	【要綱、事業実施要領、その他】 [NAR] (令和5年度)畜産振興事業補助実施要綱 [事業実施主体] 委託事業実施要領	事業の目的	趣旨	輸出先諸外国の規制に対応した畜産物の生産に資するよう生産者への理解醸成を図る	
				実施方法	会議等の開催、普及啓発資料の作成、相談窓口の設置・運営	
				受益対象者	畜産農家等	
事業の内容	<p>我が国の畜産物の輸出を促進するにあたり、想定される輸出先諸外国から飼養衛生管理やアニマルウェルフェアへの対応を求める声が高まっている状況下において、輸出先国へのプロモーションの前段階として輸出する畜産物がアニマルウェルフェア等に係る規制やニーズに対応している必要があるが生産者の輸出に対する意識は高いとは言い難い。 本事業では生産者の輸出に対する理解醸成や意識向上を図り、生産段階からこうした規制に対応した畜産物の生産を促進するため以下の事業を実施した。</p> <p>(1) 畜産生産者の理解醸成事業 ・(2)の畜産会組織への相談窓口設置事業の周知等について説明するため、全国説明会及び推進委員会を実施した。 ・畜産物生産者の理解醸成を図るため、既存の小冊子3種類とリーフレット2種類を増刷し、相談窓口を設置した。 ・地域の相談窓口が開催する研修会2回に講師を派遣し、日本の畜産物輸出の現状等について講演を行った。</p> <p>(2)地域の輸出相談窓口の設置及び運営事業 ・都道府県の畜産会組織等22団体に輸出相談窓口を設置し、畜産生産者や関係機関等に対するPR資料の配布や研修会等の開催を通じて畜産物輸出についての理解醸成を図った。 (窓口の設置及び運営は委託事業として実施した)</p>					
補助金額(円)	前年度(R4実績)	評価年度(R5実績)	今年度(R6計画)	備考		
		10,084,000				
視点別評価	<p>I 計画の達成度 II 事業の有効性 III 事業の効率性(費用対効果)</p>			<p>【評価項目】</p> <p>I 計画の達成度 II 事業の有効性 III 事業の効率性(費用対効果)</p>		
総合評価	評価結果		ランク	ランクの定義		
	合計点	10	A	視点別評価の合計点が10点以上(12点満点)		
	判定(ランク)	A	B	視点別評価の合計点が8点以上10点未満		
			C	視点別評価の合計点が6点以上8点未満		
			D	視点別評価の合計点が6点未満		